

日揮ホールディングス (1963)

連結	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株益	1株配
21.3	4,340 億円	229 億円	255 億円	51 億円	20.4円	12.0円
22.3	4,284 (▲1%)	207 (▲10%)	300 (+18%)	-356 (赤転)	-140.8円	15.0円
23.3 予	6,200 (+45%)	340 (+64%)	460 (+53%)	300 (黒転)	118.7円	36.0円
24.3 予	7,000 (+13%)	380 (+12%)	430 (▲7%)	275 (▲8%)	108.8円	36.0円

株価情報 (11/21時点)

株価: 1,865 円
 時価総額: 4,712 億円
 PER(23.3予): 15.7倍
 PER(24.3予): 17.1倍
 配当利回り(23.3予): 1.9%

大和証券予想、実績は決算短信。

“脱ロシア”を追い風とできる LNG プラント建設会社。将来的には SAF や水素なども成長源に

世界のエネルギー調達網の再構築に貢献する企業

日揮 HD は LNG (液化天然ガス) 製造プラントの建設に強みを持つ。設計から資材調達、建設までを一括で請け負うことのできる企業は世界でも数少ない。

LNG とは、気体状の天然ガスを超低温で液化化することで、陸上や海上の輸送経路の柔軟性を確保したエネルギー源だ。天然ガスを巡っては、ロシアによるウクライナ侵攻後の地政学リスクの高まりにより、同国から欧州へのパイプライン供給の持続性に不透明感が強まった。欧州や西側諸国にとり、代替供給源の確保は喫緊の課題であろう (図表①)。その点、LNG は消費地と生産地を結ぶ際の地理的制約が相対的に小さいため、需要拡大が見込めよう。製造プラントの建設計画も世界各地で動き出すと期待される。

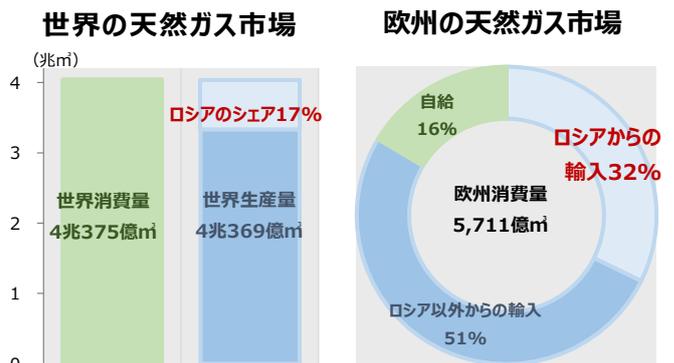
通期計画を上方修正。上期は利益率が大幅に改善

今上期 (4-9 月期) の営業利益は 190 億円と前年同期から 83% の大幅増益となった。円安や受注工事の採算改善などで、粗利益率が 12.0% (前年同期は 9.6%) へ大幅に向上したことが背景だ。会社側は、この決算発表に合わせ、23 年 3 月期の通期計画を上方修正しており、営業利益の見通しを従来 290 億円→340 億円(前期比 64%増、下期の為替前提は 1 ドル=140 円) へ増額した。配当金の見通しも同 29 円→36 円/株に増やす方針とした。大和でも、今期は概ね会社計画並みの業績が達成可能と見込んでいる。

今後も LNG プラントなどの受注獲得に期待したい

今期の受注高計画は 8,400 億円 (前期比 2.7 倍) で据え置き。ただし、上期時点で 4,634 億円を確保したうえ、現在も米国の LNG プラント増設など複数のプロジェクトに入札中。これらを獲得することで受注高が計画を上振れする展開を期待したい。将来収益の源泉と言える受注残高が更に積み上がることに繋がるため、株式市場でも好感されよう (図表②)。将来の成長分野として育成中の SAF (持続可能な航空燃料) や水素、アンモニアといった再生可能エネルギー関連のプロジェクト進展にも期待しておきたい。(林)

① “脱ロシア”が新たな LNG 需要を呼び起こす可能性は高い



(注) いずれも 2021 年実績
(出所) 「BP Statistical Review of World Energy 2022」より大和証券作成

② 収益の先行指標として「受注残高」の動向に注目したい



(注) 過年度の株価と受注残高は各年度末。23 年 3 月期は株価が 11/21、受注残高が上期末時点。(出所) ブルームバーグ、会社資料、ASTRA



(出所) 東京証券取引所、修正株価ベース

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する決定は、銘柄選定を含め最終的にはご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行なう場合、約定代金に対して最大1.26500%（但し、最低2,750円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大0.99000%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほか、為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行なうにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行なうことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された各種手数料等（最大3.3%（税込）の購入時手数料、換金時には、1口（当初1口=1,000円）につき最大22円（税込）の解約手数料や最大0.5%の信託財産留保額、間接的にかかる費用として、最大年率3.755%程度の運用管理費用、その他運用実績に応じた成功報酬やその他の費用等）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。各商品の目論見書等のご請求は、大和証券のお取引窓口までお願いいたします。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行なわれていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 / 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

【保有株式等について】

大和証券は、このレポートに記載された会社が発行する株券等を保有し、売買し、または今後売買することがあります。大和証券グループが、株式等を合計5%超保有しているとして大量保有報告を行なっている会社は以下の通りです。（2022年10月31日現在）

コムシスホールディングス(1721) サンケイリアルエステート投資法人(2972) 日本アコモデーションファンド投資法人(3226) 森ヒルズリート投資法人(3234) サムティ(3244) 産業ファンド投資法人(3249) アドバンス・レジデンス投資法人(3269) ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人(3278) アクティブ・プロパティーズ投資法人(3279) GLP投資法人(3281) コンフォア・レジデンシャル投資法人(3282) オンリー投資法人(3290) イオンリート投資法人(3292) ヒューリックリート投資法人(3295) 日本リート投資法人(3296) 積水ハウス・リート投資法人(3309) ケネディクス商業リート投資法人(3453) ヘルスケア&メディカル投資法人(3455) サムティ・レジデンシャル投資法人(3459) 野村不動産マスターファンド投資法人(3462) ラサールロジポート投資法人(3466) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) ティーケービー(3479) 三菱地所物流リート投資法人(3481) ウェルス・マネジメント(3772) カヤック(3904) バンク・オブ・イノベーション(4393) オンコセラビー・サイエンス(4564) レナサイエンス(4889) 東邦亜鉛(5707) TDK(6762) アドバンテスト(6857) 太陽誘電(6976) アストマックス(7162) グッドスピード(7676) クレディセゾン(8253) マネーパートナーズグループ(8732) 日本ビルファンド投資法人(8951) ジャパンリアルエステイト投資法人(8952) 日本都市ファンド投資法人(8953) オリックス不動産投資法人(8954) 日本プライムリアルティ投資法人(8955) NTT都市開発リート投資法人(8956) グローバル・ワン不動産投資法人(8958) ユナイテッド・アーバン投資法人(8960) インヴィンシブル投資法人(8963) フロンティア不動産投資法人(8964) 日本ロジスティクスファンド投資法人(8967) ケネディクス・オフィス投資法人(8972) 大和証券オフィス投資法人(8976) 大和ハウスリート投資法人(8984) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) 大和証券リビング投資法人(8986) ジャパンエクセレント投資法人(8987) Green Earth Institute(9212) 帝国ホテル(9708) ファーストリテイリング(9983)（銘柄コード順）

【主幹事を担当した会社について】

大和証券は、2021年11月以降下記の銘柄に関する募集・売出し（普通社債を除く）にあたり主幹事会社を担当しています。

アルトナー(2163) ライフドリンクカンパニー(2585) SOSiLA物流リート投資法人(2979) SREホールディングス(2980) ストレージ王(2997) コンフォリア・レジデンシャル投資法人(3282) ヒューリックリート投資法人(3295) ケネディクス商業リート投資法人(3453) サムティ・レジデンシャル投資法人(3459) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) 三菱地所物流リート投資法人(3481) アドバンス・ロジスティクス投資法人(3493) Sun Asterisk(4053) 恵和(4251) THECOO(4255) BeeX(4270) フレクト(4414) JDSC(4418) Finatextホールディングス(4419) Chatwork(4448) ミルボン(4919) サークレイス(5029) ANYCOLOR(5032) eWell(5038) POPEL(5134) tripla(5136) スマートドライブ(5137) note(5243) SBリーシングサービス(5834) 鈴茂器工(6405) ウェルスナビ(7342) ネットプロテクションズホールディングス(7383) FPパートナー(7388) 日本ビルファンド投資法人(8951) 平和不動産リート投資法人(8966) 大和証券リビング投資法人(8986) スカイマーク(9204) フルハシエPO(9221) トリドリ(9337) INFORICH(9338) 朝日放送グループホールディングス(9405) プログレット(9560) グラッドキューブ(9561) 福井コンピュータホールディングス(9790)（銘柄コード順）

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する決定は、銘柄選定を含め最終的にはご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。